

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 中心静脈カテーテル挿入部位及び血液培養採取部位の皮膚消毒に関する検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 中村みどり（看護部・看護師）

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間：2026年7月17日～2032年3月31日

目的：血液培養検体採取および中心静脈カテーテル（central venous catheter：以下 CVC）挿入は、院内感染管理において極めて感染リスクの高い手技である。これらの手技に用いる皮膚消毒薬としてクロルヘキシジンアルコール製剤が、ポビドンヨードと比較してより低い汚染率を示す可能性が報告されている。当院では皮膚消毒薬をポビドンヨードから 1%クロルヘキシジンアルコールへ変更予定となっている。

本研究では

- ・血液培養検体採取時の皮膚消毒薬変更が汚染率・標準的消毒手技に与える影響
 - ・CVC挿入部消毒薬変更が血流感染・合併症に与える影響
- を前後比較により明らかにすることを目的とする。

方法：カルテからの情報収集をもとに実施する後方観察研究

■ 対象となる患者さん

2025年4月～2031年7月に血液培養の検体採取を受けた15歳以上の患者さん

2025年4月～2031年7月にCVCを挿入された患者さん

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：臨床所見（年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報）、血液所見（血液データ・培養結果）、治療の有無（抗菌薬使用）、治療反応性・予後、CVC挿入部位、CVC挿入部感染の有無、血流感染の有無、皮膚障害・合併症発生の有無等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

中村みどり 看護部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971